

審 議 結 果

次の審議会等を下記のとおり開催した。

審議会等の名称	第3回益田市総合振興計画審議会
開催日時	令和2年9月4日（金）13：30～17：00
開催場所	益田市役所3階 大会議室
出席者	<p>[審議会委員]</p> <p>藤原真砂会長、藤井幸子副会長、森本恭史委員、松本満委員、桂木正則委員、村岡詩織委員、末成弘明委員、吉村里恵委員、石川洋紀委員、草野祐一委員、豊田芳明委員、廣兼重孝委員、中村克也委員、舟橋道恵委員、大賀肇委員、中野純委員</p> <p>[事務局]</p> <p>益田市 志田原政策企画課長、山本総合戦略室長、岡藤主任主事 コンサル ランドブレイン株式会社</p>
議題等	<ul style="list-style-type: none"> 基本構想（案）について【資料4】 基本計画案について【資料2-1、2-2】 総合戦略の基本目標案について【資料3】 今後のスケジュールについて【資料5】
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	0名
問合せ先	政策企画局政策企画課 電話 0856-31-0121

審議経過

1 開会	
2 議題	
(1) 基本構想案について【資料4】	
基本構想案について、事務局から説明	<ul style="list-style-type: none"> 「益田市の現状」、「まちづくりの主要課題」について、前回（第2回）の審議会でもいただいた意見をもとに、美都や匹見など地域別の現状と課題、今後見込まれる感染症への対応等も踏まえて分析し、文章を追加した。 「益田市のめざす姿」で示す将来像については、委員の意見も踏まえて3案に絞り込み、市長らとの協議を経て決定することとしたい。 まちの将来像を具体的に示すものとして、4つの益田市版SDGs（MSDGs）を設定。
委員	1頁の図内の主要課題については、(1)など、まちづくりの主要課題と対応するようナンバリングをした方が分かりやすい。各委員から出された意見をもとに修正をいただいているが、修正が反映されていないなどはあるか。
委員	1頁の益田市の特性において「病院数、医師数は概ね維持」とある。確かにこの通りであるが、医師数の維持と記載してしまうと、このままでよいと捉えられかねない。2頁目の主要課題の記述にもつながらない。検討してほしい。
委員	<p>医師数、病院数については、高齢者の増加に合わせて現状を捉える必要がある。そのほか、合計特殊出生率は高いとあるが、県が示す目標値には至っていないことから、高いという記述も見直ししてほしい。また、育児休業取得率についても上昇とあるが、全国と比較すれば、まだまだと思う。加えて、「芸術活動の活発化」、「河川の環境が良好である」、「行政と地域が一緒に解決すべきとする意向が強い」の部分だが、そこだけをとらまえて、全市的な表現として書いて良いものか今一度チェックが必要である。</p> <p>また、主要課題だが、前回の審議会でも話したことは、新型コロナウイルスの課題をそのまま書くというより、コロナによって浮き彫りになった行政課題への対</p>

	応という視点で考えてほしい、という意味だった。ここは皆様からの意見もお聞きしたい。
事務局	全体的な表現の仕方についてはもう少し調整する。社会潮流のコロナウイルスへ対応の部分については、コロナウイルスに限らず、今後様々な感染症の発生に対する対応が必要になると考え、記載した。
委員	将来懸念される事項も含めて、現状の部分については、再度記載を見直す必要があると思う。充足されているところを強調してしまうと、新たな課題が生まれない。
委員	MSDGsについてだが、SDGsは気候も宗教も異なる多種多様な民族を対象とした国連レベルでの話であり、益田市という小さなまちで、気候や考え方、宗教もほとんど一緒という状況において、わざわざSDGsの考え方に寄せる必要があるのかと思う。また、SDGsとMSDGsが、どうマッチングするかが気になっている。
委員	MSDGsについては、国連のSDGsとの関係性を整理する必要がある。のちほど、自身の案を示す。
事務局	MSDGsについては、国連のSDGsに益田のMを加えることで、本市独自の特色ある目標として表現している。益田市における4つの資源それぞれが、国連のSDGsと関連しているという考え方に基づいている。
委員	新型コロナウイルスというより、更にその先の新たな感染症続発時代という考え方が必要かと思うがいかがか。 また、KGIという言葉が出たが、ここには目標値が入るのか。
事務局	新型コロナウイルスの件については、もう一度いただいた意見を踏まえて見直したい。 KGIについては、目標値として、目指す数値を入れようと考えている。
委員	KGIは何を表現しているのか。英語表記の略だろうが、分かりにくい。何が平均数値で、どうなればよいのか分かるようにすればよいのではないかと思う。
事務局	資料に記載しているKGIはアウトプット寄りの指標が並んでいるが、そうではなく、成果そのものを示すアウトカム指標というものを中心に設定を検討している。しかしながら、指標の設定が困難な項目もあるため、なるべく成果が明確に測れる指標とすることを念頭に、分かりやすい指標となるよう再検討する。
委員	1頁目の図について、番号を付けるという話があったが、横断する課題については、(1)と番号を付けず【横断課題】として、以降から番号を付けるようにすればよいと思う。 また<益田市の特性>と記載があるが、ここは特性と現状が混ざっているのので、この文言を検討いただきたい。また、重要なところはフォントを変えるなど、ここが重要だと分かるよう、メリハリをつけるようにするとよいと思う。
委員	他に異論がなければ修正いただきたい。<益田市の特性>は、現状についての記述に修正いただけるとよいのではないかと思う。
委員	MSDGsについては、4つのアイコンでSDGsをまとめて評価しているということがわかり、この中で益田市を評価するという形が構築されているのでよいと思う。
委員	どこの自治体もSDGsを入れているのか。また、義務なのか。
事務局	多くの自治体がSDGsの考え方を踏まえて総合振興計画に取り入れている。取り入れることは義務ではないが、地方創生にも資する考え方だと認識している。
委員	MSDGsの「人」は、「市民」あるいは「人」のどちらを表しているのか。個人的には、益田市として誇りを持って取り組むということであれば「市民」という言葉の方がよいのではないかと考える。
事務局	市民という言葉もよいと思う。ただ、子どもから大人まで個人が人として成長していくという考え方が必要であり、最終的にはそれが市民力となって益田を支えていく流れになると思う。市民に限らず大きく捉えた考え方として、人という言葉を使用している。
委員	7頁～10頁の流れだが、説明があちこちして伝わりにくい。環境や産業の意味

	が先に分かったほうが理解しやすいと思う。何か別の意図があったのか。教えてほしい。
事務局	7~8頁で、益田市にはどのような資源があるかを示し、これらがうまく循環していくことで人が育つという流れで記載した。これを踏まえ9~10頁でSDGsと関連があることをうたい、益田市版としてMSDGsを掲げ、取り組んでいくという流れにしている。
委員	7~8頁は抽象的だ。もっと検討したほうがよいと思う。
事務局	ここは内部でも多く議論を重ねた。先にMSDGsの概念を出したほうがよいか。
委員	順番よりも、言葉が多く出てきて分かりにくい。「2-2 基本理念」という項目の中に理念が出てこないのが気になる。基本理念の中でうたわれないといけないものを整理したほうがよい。
委員	MSDGsは、他の自治体でも同様に設定しているのか。
事務局	本市独自のものだ。
委員	MSDGsは中心的な題目になるのだから、計画書の最初にSDGsを実施するということを見せるべきと思う。唐突に出てきても分からない。
委員	基本理念の見せ方を明確にすべきだ。4つのMSDGsがどういう形で導き出されたかをうまく表現できたらいい計画書になると思う。
委員	SDGsの前にMが付くのが気になる。一般市民の方は説明がないと分からないと思う。
委員	MSDGsが別ものとしてある感覚なので、関連性がわかりにくいと思う。
委員	「総合振興計画の策定にあたって」といった前段の部分で、解説がされる構成であればわかりやすくなるのではないかと思う。
委員	資料4については、いったん区切りたい。 資料1について、事務局から説明をお願いします。
○「まちの将来像」について【資料1】	
「まちの将来像」について、事務局から説明 ・庁内の作業チーム、審議会委員からいただいた案をまとめた。委員には、この中から選び、投票いただきたい。上位3つを審議会の案として決定したい。 ・本日、この場で回答いただくか、FAX又はメールでの回答をお願いします。	
委員	将来像の案について、各委員の方々からいただいたものは、資料の中に入っているのか。
事務局	入れている。
委員	キーワードは人が育つということかと思う。皆さんから出していただいた将来像もあるので、PRしたいものがあれば、ご意見いただいたほうがよいと思う。
委員	アンケートについて、市民には470通送り、77通の回答。回答率16%程度だ。これをもとに考えると、間違いが起こらないか。偏りが出て危険ではないかと思う。
事務局	将来像の案については、企業の若い人や、職員の若手チームなどから意見を集めている。今回は、もともとワークショップにて将来像の案を募る予定であったため、代替アンケートにおいても同程度の規模で行った。また、数を集めて統計的に処理するのではなく、あくまで意見として参考にするものとして実施した。
委員	ワークショップだと地域を均等に行うなど、参加者の平均化を図るが、アンケートだと多分に偏っている場合もある。ワークショップが実施できればよかったと思う。
事務局	ワークショップ参加予定者にもアンケートをお送りしている。

委員	将来像の案同士を結びつけると、よいものができるということもあるのではないか。本審議会の中で3つのグループをつくり、各グループで案を出すなどを行ってはどうか。
委員	皆様の想いがあるかと思うので、議論をして決める形でよいか。
委員	私は議論しても決まらないと思う。インスピレーションだと思うので、投票でよいのではないか。
委員	どちらがよいか。挙手で決定したい。
(委員挙手)	
委員	投票で決めるという意見が多いため、投票としたい。
(2) 基本計画案について【資料2-1、2-2】	
基本計画案について、事務局から説明 <ul style="list-style-type: none"> ・ 現行の、第5次総合振興計画 後期基本計画から文言を変えている部分は、黄色く着色している。 ・ 基本施策ごとに、SDGsのアイコンを記載した。 ・ 資料2-2は、資料2-1から目標指標のみを抜き出したものだ。担当課案では分かりにくいと思われる目標もあったため、右側に事務局案を示している。 	
委員	地域協働と地域共生の使い分けをしっかりと分けてほしいと思う。また、バリアフリーの記述があるが、最近はユニバーサルデザインが主流となっていると思う。 女性の参加率を高めるためには、各地域の意識が重要だと思う。そのことについて、全体的な点として反映していただけたらと思う。
委員	現行の基本計画と比べて、SDGs以外の変更点は無いように思うが、何のためにSDGsを入れたのか。また、実施計画には予算が書き込まれるのか。
事務局	具体的な事業については、実施計画で反映させていく。 市が取り組んでいる施策がSDGsとつながっていると意識していただくのがねらい。SDGsの理念に沿って施策を合わせるというわけではない。益田市も国際社会の一員として、社会全体の目標に沿って行動していくという意味合いで、SDGsを載せている。
委員	SDGsを意味のあるものにするため、これから浸透させていく方法も考えていくということによいか。
事務局	基本計画の期間終了時には進捗達成度を測るので、そこも評価の対象になるかと思う。
委員	国際的な目標に追従する点もあるが、益田市として一体感を持ってやるという所が重要であり、それが国際的な目標にも関連するという点が表現できればよいと思う。 SDGsは「誰一人取り残さない」という考えが重要で、施策の中で取りこぼされているものがあるのではないかと思う。例えば、貧困、マイノリティ、外国籍の人、不登校、引きこもりなど、見えてない存在に対して施策をきっちり位置付けることが益田市としての意思表示として強いものになると思う。
委員	せっかくSDGsを計画に盛り込もうとしているので、単なるシンボルとして見せるだけではなく、意味付けをきちんとできるようにしたらいいと思う。 計画全体を見たとき、頻繁に出てくる目標がある。特徴が見えると思う。
委員	SDGsを広めるうえで、市民がそれを知らなかったことが悪いこと、となっはいけないと思う。これから浸透させていくという形でフォローできればよいと思う。
委員	行政の業務は、こじつければ、どれかのSDGsに当てはめられる。検討して、本当にSDGsに当てはまるものを示したらよいと思う。 第6次計画は、第5次総合振興計画で課題があつてできなかったものを、また次の10年で実施するものなのか、それとも、今はそこまで思考できていないが

	10年経ったらこういう思考に至っているという考え方をもとに計画、実施するものなのか。私は、後者の考え方で計画、実施するものだと思う。
委員	総合振興計画について、数年間で見直す時期があるかと思う。事務局にて見直し時期の説明をお願いしたい。
事務局	基本計画は5年ごと、基本構想は10年である。総合戦略も5年だが、実施計画は毎年見直している。
委員	目標指標についてお聞きしたい。目標値が現状値より下がっているものがある。どのような考え方で設定しているのか。
事務局	目標指標については、現時点で、分かりやすいものとそうでないものがあると認識している。検証できる目標数値となるよう、再検討する。事務局と各課で内容を詰め、市民や行政が意識できる目標数値としていく。
委員	基本構想があって、基本計画がある形と思う。基本計画に比べて基本構想が分かりにくい。基本構想と基本計画とのつながりが見えない。基本構想に述べられているMSDGsが、基本計画では述べられていない、活かされていない。
事務局	MSDGsは将来像を実現するための方針である。4つが横断的に関連するため、基本計画のところでは見えにくい。4つのMSDGsを実現するために、横断目標と基本目標7つを掲げて、その具体的な事業が基本計画という考え方だ。
委員	MSDGsは、10年後のあるべき姿を描くものと考えたらよいか。
事務局	ご承知のとおりである。ゴールを示したものがMSDGsである。
委員	MSDGsが計画書とフィットするように考えるべき。
委員	MSDGsと基本目標との関係性を分かりやすく見せてほしい。全ての基本目標にMSDGsが入るということは、ここも横断目標になる。横断目標は縦に書いてあるがMSDGsは上に乗っている。図を分かりやすくしてほしい。 SDGsとMSDGsのどちらの優先度が高いのか分かりにくい。基本構想はMSDGsと思うが、施策になるとSDGsのアイコンが並んでいるので、国際的な方が上位なのかとなる。MSDGsを目指したいのか、SDGsを目指したいのか、資料で分かりづらくなっている。今のままでは、MSDGsが宙ぶらりんだ。
委員	MSDGsが基本計画に入っていないので理解に苦しむと思う。もう少しうまく機能させていければ、より分かりやすくなると思う。
事務局	統一ができていないので、検討する。
委員	第5次総合振興計画と第6次総合振興計画を比較すると、「現状と課題」に気になるところがある。具体的には、事業承継に関するところで、担い手不足で事業実施や廃業の懸念があるが、このあたりの課題が書かれていない。
事務局	現状と課題については、担当課とやり取りを重ね、検討しているところであるが、ご意見いただいたとおり、担い手不足による事業実施や廃業の懸念については課題として挙がっていない。担当課に伝えたいと思う。
委員	これだけ議論を重ねれば、計画としてかなりの部分ができているはずだが、MSDGsについて、かなり時間を割いてしまっている。
委員	まだMSDGsを呑み込めていない印象。構成のこともあると思う。 基本計画については、例えば市道の改良率など、0.3%上昇するのが目標としてよいものなのか、分からない。目標値が本当によいかどうか、加えてその根拠が分からないと議論がしづらい。
委員	保護者へのアンケートを行った際、育児休暇を取りたくても取れないという人がかなりいた。 基本構想（資料4）について、協働の取組みのところの、市民、行政の取組例については、どういったところからこの文言が出てきているのか。
事務局	市民のところは、市民アンケート、行政のところは、庁内各課から募った意見から来ている。取組例は、益田市におけるゴールを達成するために、市民と行政がどういった取組をしていかないといけないかという意味合いで書いている。

委員	あくまでも市民に分かりやすい計画にする必要がある。上手く MSDGs を処理したほうがよい。 また、基本計画に保育についての記載はあるが、今後、放課後児童クラブが大切になると思う。新しい状況を踏まえての指標が必要である。
委員	保育の充実は図られているが、こども園（保育所と幼稚園を兼ね備えたもの）は、益田市内は現在、5園くらいである。
委員	協働の取組みについて、市民は取組例でもよいかと思うが、行政は例でない方がよいのではないか。しっかり示すべきではないか。
事務局	フォーマットの変更も含め、表記の仕方を検討したい。
委員	市民と行政は補完し合う関係であり、私はこのフォーマットでよいのではないかと思う。 また、施策体系は項目出しと順番が大切だと考える。現状では、市の重要な施策の順番として並んでいるのか。例えば、基本目標Ⅰは、「誰もが健康で安心して生活できるまち」とあるのに、1番目の基本施策は、結婚・出産・子育てに関することになっており、健康づくりが2番目にきている。順番を入れ替えるべきではないか。 加えて、基本目標Ⅲの基本施策2は、基本施策のタイトルは「こだわりの地域産品を提供します」とあるのに、具体施策の中身がそのような記述になっていないと感じる。中身と表題が異なるところは修正いただきたい。
事務局	基本施策の順番は、優先順位であるという意図はない。表題も含めて、分かりやすい表現となるよう検討したい。
委員	第5次計画に引きずられると、必要な施策が漏れる可能性があるので留意してほしい。
委員	第5次総合振興計画と第6次総合振興計画で変わったところは黄色で書いてあるが、内容が詰めきれていない。
(3) 総合戦略の基本目標案について【資料3、資料3の補足資料】	
総合戦略の基本目標案について、事務局から説明 <ul style="list-style-type: none"> ・総合戦略は、基本計画の中から地方創生・人口減少対策に関する内容を抜き出した形となる。 ・6月に、次期総合戦略に盛り込むべき内容についてアンケートを行った。その結果、資料3に網掛け・下線で示している施策について、重要との回答が多かった。 ・アンケートの結果と、国・県の総合戦略を踏まえて、本市の次期総合戦略として、4つの基本目標（基本的に現行の計画を継続・発展）と、横断目標を設定し、進めていきたい。 	
委員	具体施策から施策を抜き出し、構築するとのことだが、基本目標の中身は、決定したものか。
事務局	現在、柱だけをお示しさせていただいている。アンケートで重点に挙げられた事項について、中心に組み立てをしていく予定である。次回中身をお示しさせていただく。
委員	総合戦略のアンケートはどのように取得したか。
事務局	まちの将来像を尋ねるアンケートと一緒に配布した。
(4) 今後のスケジュールについて【資料5】	
今後のスケジュールについて、事務局から説明 <ul style="list-style-type: none"> ・次回は10月中旬を予定している。これまでにいただいた意見をもとに、修正作業を進める。 	
(5) その他（将来人口推計について）【参考資料3】	
将来人口の推計について、事務局から説明 <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度に「人口ビジョン」を策定しているが、今回、最新の数値を用いて将来人口を再度推計した。グラフに示す「【今回】パターン2」は、島根創生計画での県の推計方法に準拠し、益田市の人口を推計したもの。 	

委員	<p>将来人口推計については、今後また議論していきたい。 その他、全体を通してご意見等はないか。</p>
事務局	<p>SDGs は、世界が目指すゴールについての世界共通言語と認識している。SDGs を通して、自治体の強いところ、弱いところも出てくると思う。 MSDGs については、どのような形がいいか、引き続きご意見をいただきながら検討を重ねたい。</p>
<p>3 閉 会</p>	